

| | |
|-------------|---|
| 教科目標 | 実践的・体験的な活動を通して、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。 |
|-------------|---|

【評価項目】

| 観点 | 生物育成に関する技術 | マルチメディアの活用 プログラムによる計測・制御 | 評価方法 |
|---------------------|--|--|-----------------------|
| 生活や技術への 関心・意欲・態度 | 生物育成に関する技術に関する倫理観を身につけ、知的財産を創造・活用している。 よりよい社会を築くために、生物育成に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。 | 情報に関する技術に関わる倫理観を身につけ、知的財産を創造・活用しようとしている。 | 定期テスト、提出物 作品、授業の様子 |
| 生活を工夫し 創造する能力 | 目的や条件に応じて栽培の計画を立てるとともに、育成する生物の観察を通して成長の変化をとらえ、適切に対応を工夫している。 よりよい社会を築くために、生物育成に関する技術を適切に評価し活用している。 | 目的や条件に応じて情報処理の手順を工夫している。 | 定期テスト、提出物 作品、授業の様子 |
| 生活の技能 | 生物の適切な管理作業ができる。 | 簡単なプログラムを作成できる。 | 定期テスト、提出物 作品、授業の様子 |
| 生活や技術についての 知識・理解 | 生物を取り巻く生育環境が生物に及ぼす影響や、生物の育成に適する条件及び育成環境を管理する方法についての知識を身につけ、生物育成に関する技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。 | コンピュータを用いた計測・制御の基本的な仕組みについての知識を身につけている。 | 定期テスト、提出物 作品、授業の様子 |

【学習計画】

| 月 | 単元・題材名 | 時数 | 学習内容 | 学習のねらい | 評価項目 | 道徳 |
|--------------------------|--------------------------------|----|--|--|-----------------------|-------|
| 4 | わたしたちの生活と生物育成 | 2 | ○生物育成とは ○作物の特性と生物育成技術 ○生物育成のサイクル | ○作物の栽培に関心を持ち、栽培技術が果たしている役割について考える ○作物の種類と特徴をまとめ分類する | 観察・行動 期末テスト | 1-(2) |
| 5 | 作物の栽培 | 4 | ○栽培ごよみ ○環境要因 ○生育の規則性と技術 ○栽培計画 ○土づくり、肥料 ○たねまき、育苗と植えつけ ○定植後の管理 ○収穫の方法と保存 ○収穫後の管理 ○社会・環境とのかかわり ○生物育成に関する技術とわたしたちの未来 | ○作物に応じた適正環境を考える ○作物に適した育成方法と技術に関する知識を身につけている ○生物育成の計画を立てることができる ○工具や機器の扱い、片付けができる ○生物育成の基本的な技術を身につけ、観察記録をつけることができる ○作物の収穫を行う ○栽培と生活について考えようとしている | 観察・行動 提出物 期末テスト | 3-(1) |
| 6 | 生物育成に関する技術とわたしたち 学習のまとめ | | | | | |
| 7 9 10 11 12 | マルチメディアの活用 プレゼンテーションをしよう | 8 | ○プレゼンソフトの機能(アニメーションや音)を学習し簡単な作品を作ってみよう。 ○インターネットを使って都道府県を調べて、各地の紹介をプレゼンで発表しよう ○自分で製作したプレゼンで発表 ○発表した内容を評価し合おう | ○プレゼンの役割を理解する。 ○簡単なプレゼン作品を作り、よりわかりやすく伝えられるようにいろいろな機能に工夫を加える。 ○自分の調べる県を調べて、作品考える。 ○自分の作る作品について発表練習をし、伝えやすいように工夫する。 ○発表した内容について検討し、意見交換を行う。 | 観察・行動 作品 期末テスト | |
| 1 2 | プログラムによる計測・制御 | 3 | ○生活の中にある制御 ○計測・制御システム ○処理の手順とプログラム ○プログラムによる模型の制御 | ○プログラムがどのような場所で使われているか理解している ○センサーのしくみについて理解している ○プログラムの流れについて理解し、簡単なプログラムを作成する | 観察・行動 期末テスト | |
| 3 | 情報社会に関する技術とわたしたち 学習のまとめ | 1 | ○社会・環境とのかかわり ○情報社会を生きるために ○3年間のまとめ | ○自分の課題を評価でき、新たな課題を発見できる ○情報に関する技術で学んだことを生活に活かすことができる | | 1-(2) |

計 18 時間

学習のアドバイス

授業に取り組む姿勢を重視していきます。完成度の高い作品になるよう集中して取り組みましょう。また、ノートや作品の提出期限は必ず守ること。授業で使用する工具や機器の扱いに注意し、安全に作業できるように心がけ、ものを大切に作る気持ちを持つこと。自分の作品にも他人の作品にも愛情を持てるようになってください。